

令和3年度「知恵の経営」入門セミナー

「知恵の経営」の狙いと効果 ～平時での準備が有事で生きる～

無料

「知恵の経営」とは、企業に蓄積された技術・ノウハウ、人材、顧客や取引先等のネットワークなど、目に見えない自社独自の「強み」とその根源である「知恵」をしっかりと認識・活用することで業績向上に結びつける経営のことです。

厳しい経営環境の中、事業継続にむけて経営改革に取り組むことが重要となっています。そのために自社の「強み」と「知恵」を認識することの重要性、また「知恵」を活かした効果的なマネジメントについて事例を交え解説します。今後の事業発展のために何が必要か改めて考えませんか。

日時
場所

令和3年5月31日(月)10:00～12:00

京都商工会議所 7-AB 会議室（京都経済センター7階）

[京都市下京区四条通室町東入/阪急「烏丸」地下鉄「四条」26番出口直結]

①講演：「知恵の経営」の狙いと効果～平時での準備が有事で生きる～

講師：龍谷大学 政策学部 教授・大学院政策学研究科長 中森 孝文 氏
(京都府「知恵の経営」意見聴取会議・委員長)

内容：リーマンショック時、売上げの8割が消えた反省から、強みを徐々に強化しつつ事業の分散をはかってきた企業。事業を承継するにあたり、自社の強みと弱み、財務と非財務の関係性について社員と検討を重ねて、自社の将来ビジョンを考えていた企業。これらは平時から自社の強みの源泉を眺め、その効果的なマネジメントについて考え実践している京都の中小企業が、有事に対応できている実例です。それには何が必要なのか、「無駄の無駄」と「必要な無駄」の視点から解説します。



②事例発表：「知恵の経営」報告書作成で見た自社の強みと今後の展開

講師：株式会社タケダ 代表取締役社長 竹田裕美子氏（「知恵の経営」報告書 作成責任者）
(2019年12月に京都府「知恵の経営」実践モデル企業に認証。)

定員

50名(先着順)

対象

府内の中小企業経営者・経営者幹部等

申込み

下記参加申込書にご記入の上、5月27日(水)までにお申し込みください。
Webサイトからもお申込みいただけます。https://www.kyo.or.jp/kyoto/

※参加証は発行しませんので、当日直接会場へお越しください。

※当日はマスク着用の上ご参加ください。発熱や体調不良の場合は参加をご遠慮ください。

京都商工会議所 中小企業支援部 知恵産業推進課 担当：金村・梅垣
TEL:075-341-9781 E-mail:bmpj@kyo.or.jp



問合先

◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催方法の変更もございます ◆

—— 「知恵の経営」入門セミナー（5/31）参加申込書 ——

FAX : 075-341-9798

京都商工会議所 中小企業支援部 知恵産業推進課 宛

*事業所名（ふりがな）

*所属・役職名：

*氏名：

*TEL：

*FAX：

*メールアドレス：

※ご記入いただいた情報は主催者からの各種連絡・情報提供に利用させていただく他、講師に参加者名簿（事業所名・役職・氏名）として提供する場合があります。本事業は京都府の補助金を受けて実施しているため、京都府へ参加者名簿（同上）を提供する場合がございます。